

鴻巣市章の変更及び都市宣言の制定に係る意見募集結果

1 意見公募期間

令和2年10月1日から令和2年10月30日まで

2 意見の提出件数等

提出者数 17人

提出意見数 17件（うち、「市章の変更」17件、「都市宣言の制定」0件）

内訳（持参17件、郵便0件、ファクシミリ0件、電子メール0件）

3 提出された意見の要旨と市の考え方

No	分野別 分類	ご意見要旨	ご意見に対する市の考え方
1	市章の 変更	全国的に各自治体の特色を押し出した市章が作成されており、いよいよ鴻巣市も変更となるということで喜ばしく思います。 新市章は、多くの意味が込められており、対外的なPRのみならず、市民、特に子どもたちの市への愛着心の醸成にもおおいに期待できるものだと思います。	意味を持たせたマークであることから、市の特色を広くPRするとともに、市民の愛着醸成に努めてまいります。
2	市章の 変更	市章の変更に伴い、具体的な影響が出ると思うが、その影響が分からない。合併を記念し、また合併後の期間を正しく振り返ることは良いことだと思いますが、今の15周年ではなく、20周年等であっても良いのではないかと。 15周年で実施する必要があるというのであれば、市章の変更に伴い発生する費用を含めて示すことが市民の共感を得るうえで必要なことだと思います。	合併後に「三地域の均衡ある発展と一体性の確立」に取り組んできており、合併時に策定した新市建設計画の最終年度であることから、一体となった鴻巣市を広くPRすることを目的として、合併15周年の節目に市章を変更したいと考えております。 また、市章の変更に伴う費用については、審議会及び市議会で説明します。

3	市章の変更	現在の市章よりシンボルマークの方が馴染みがあり、由来を知ったうえで見ると、鴻巣らしさが良く出ていると思います。	マークの意味をしっかりと伝え、鴻巣の特徴の PR に努めてまいります。
4	市章の変更	なぜ、今、市章を変更するのか理解できません。現在のコロナ禍においては、必要なものに予算を使うべきと考えます。	新型コロナウイルス感染症対策として、市民生活への支援や地域経済対策に取り組んでいます。市章の変更については、市民の愛着醸成を図るための効果的な取組であると考えております。
5	市章の変更	シンボルマークの意味を初めて知りました。コウノトリとかひな人形とかは、鴻巣のお祭りになっているので、変更することに賛成です。	マークの意味を大切にし、広く伝えていくとともに、今後もイベント等で積極的に活用し、PR に努めます。

※同様の意見は集約しています。